

平成 29 年度「中東講座」報告書

去る 1 月 22 日（月）、平成 29 年度「中東講座」を KKR ホテル東京にて開催した。

本講座は、中東ビジネスに比較的経験の浅い若手・中堅社員の方々、また、中東についてご関心・ご興味をお持ちの方々を対象に、「中東を深く理解する」機会をご提供することを目的として毎年開催し、今回は 117 名の参加を得た。

毎回、中東地域の政治・経済・ビジネス・エネルギー、中東と日本の文化比較といった主要な内容を分かりやすく解説して頂いているが、今回もそれぞれの専門家をお招きして、下記の通り各講師にご講演頂いた。

「政治」については、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科田中浩一郎教授より「中東情勢を読み解くポイント：パラダイムの変化と新世代の異相」と題し、不安定な中東の常態化、ランプ政権下での状況の変化そして中東の大国である「サウジアラビア対イラン」について解説して頂き、現実には中東では新世代の台頭を含むパラダイム・シフトが起きていることを理解することが重要とのご講義頂いた。

「エネルギー」については、株式会社 JERA 代表取締役社長垣見祐二様より、「日本の電気事業の将来～国際化の視点から～」と題し、中東を始めとする海外で生産される化石燃料に依存してきた日本のエネルギー事情の中で、電力事業が自由化、国際化を強いられる背景について東日本大震災で原子力が使用できなくなったことを要因としてあげ、2030 年の世界の電力・エネルギー市場並びに日本の電気事業者の事業環境についての見解を示して頂いた。

「経済」については、日本経済新聞社論説委員兼編集委員松尾博文様より「多様な顔を持つ中東経済」と題し、中東が世界にとって如何に重要であるかを、①文明発祥の地、②物流の要衝、③エネルギー資源の集積、④ASEAN に匹敵する市場であること、を切り口に説明し、石油に依存しない国づくりを目指すサウジアラビアと中東最大の経済を持つが政治的な混乱のあるトルコを取り上げ中東経済の可能性と課題について解説して頂いた。

「ビジネス」については、株式会社三菱総合研究所代表取締役副社長吉川恵章様より「イスラム市場の魅力とビジネスの醍醐味」と題し、商社勤務時代に従事した中東ビジネスの体験談を交えながら、中東・イスラム市場のポテンシャルについて人口が増加してインフラ需要が拡大する点を魅力であるが、地政学、油価低迷、コンプライアンスのリスクが高まっている点を挙げ、リスクを低減し現地に根付いた地域戦略を推進するための心構えなど具体的なヒントを挙げて中東ビジネスに関わる参加者に向けてエールを送って頂いた。

最後に、「文化」については、モロッコ王国大使館大使顧問、NHK ワールドのキャスターであるバトハウイ・ハキマ様より、「ベールに包まれたアラブ女性のソフトパワー」と題するご講演を頂いた。ハキマ氏と日本の縁といった個人の話から、アラブ人女性向けのビジネスの可能性に至るまで、出身国モロッコの紹介、ハキマ氏が展開している日本人との交流や中東ビジネスプランな

ど幅広く紹介し、一般的に日本人には縁のないアラブ人とりわけアラブ女性について理解を深める講演を頂いた。

<結果>

- ・受講者のアンケート結果では、非常に高い評価をいただいた。「ニュースのみでは理解難しい情報等、参考になった。」「中東を多面的に学ぶ良い機会になった」「全般的に質の高さを感じる講演で大変満足している」等、満足度が伝わるコメントが多数寄せられた。
- ・賛助会員企業ならびに関連企業・団体を始め、中東に広く関心を持つ方々へ、中東地域の話題をタイムリーにご提供することができた。



田中講師 「中東情勢を読み解くポイント：パラダイムの変化と新世代の異相」



垣見講師 「日本の電気事業の将来～国際化の視点から～」



松尾講師 「多様な顔を持つ中東経済」



吉川講師 「イスラム市場の魅力とビジネスの醍醐味」



ハキマ講師 「ベールに包まれたアラブ女性のソフトパワー」



会場 KKR ホテル東京 「瑞宝」